

平成26年度  
埋蔵文化財調査年報

— 国庫補助事業対象分 —

2016年3月

太子町教育委員会

平成26年度  
埋蔵文化財調査年報

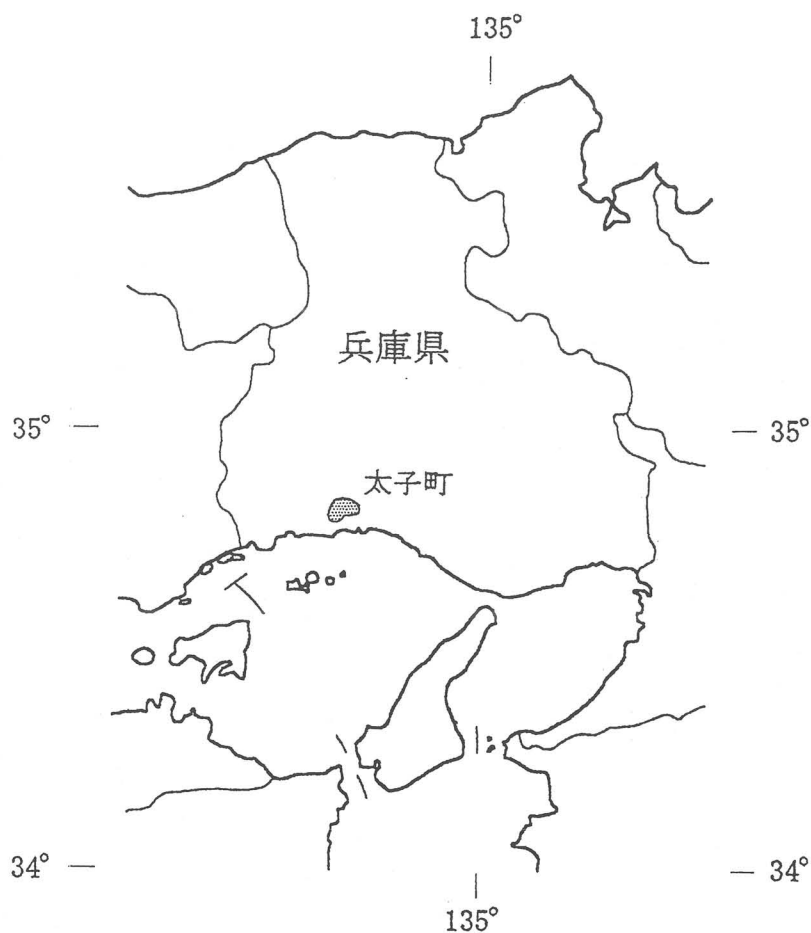
2016年3月

太子町教育委員会



## 例 言

1. 本報告書は、平成 26 年度に実施した埋蔵文化財調査のうち、国庫補助事業として実施した試掘確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課文化財係海野浩幸が担当した。
3. 本報告書の執筆・編集は、社会教育課文化財係海野浩幸が行った。
4. 遺物実測・トレース等の整理作業は、改発法子・森崎敦子が行った。
5. 調査位置図は、太子町作成 1/25,000「太子町全図」(平成 9 年)を 1/30,000 に縮小して、各遺跡のトレンチ配置図は、太子町作成 1/2,500 の地図を使用した。
6. 本報告書の示す標高は、T・P を基準とし、方位は座標北を示す。
7. 本報告書で用いた経緯度は、世界測地系を基準とした。
8. 遺物実測図の断面は、瓦は白抜きで示した。
9. 本報告書に使用した図面・写真は、太子町教育委員会が保管している。



第 1 図 太子町位置図

## 調査体制

【平成 26 年度】

事務局	教 育 長	寺 田 寛 文
	教 育 次 長	宗 野 裕 幸
	社会教育課長	玉 田 正 典
	同 副課長	坂 本 敏 美
	同 係長	竹 田 一 二 三
	同 主査	岩 本 純 平
文化財担当	文化財係長	田 村 三 千 夫
	同 主査	海 野 浩 幸
	同 主事	橋 本 章 彦



写真 1 調査風景（斑鳩寺南遺跡）

# 目次

例言  
調査体制

I 平成 26 年度調査概要	1
平成 26 年度調査概要	
朝日山遺跡	3
東保高田遺跡	5
東保高田遺跡	7
斑鳩寺南遺跡	9
鶯遺跡	11
II 報告書抄録	13

## 挿図目次

第 1 図 太子町位置図	
第 2 図 平成 26 年度調査位置図	2
朝日山遺跡	
第 3 図 トレンチ配置図	3
第 4 図 土層断面図	4
東保高田遺跡	
第 5 図 試掘坪配置図	5
第 6 図 土層断面図	6
東保高田遺跡	
第 7 図 トレンチ配置図	7
第 8 図 土層断面図	8
斑鳩寺南遺跡	
第 9 図 トレンチ配置図	9
第 10 図 土層断面図	10
第 11 図 出土遺物	10
鶯遺跡	
第 12 図 トレンチ配置図	11
第 13 図 土層断面図	12

## 写真目次

写真 1 調査風景 (斑鳩寺南遺跡)	
朝日山遺跡	
写真 2 1 トレンチ	4
写真 3 2 トレンチ	4
写真 4 3 トレンチ	4
東保高田遺跡	
写真 5 1 坪	6
写真 6 2 坪	6
写真 7 3 坪	6
東保高田遺跡	
写真 8 1 トレンチ	8
写真 9 2 トレンチ	8
写真 10 3 トレンチ	8
斑鳩寺南遺跡	
写真 11 1 トレンチ	10
写真 12 2 トレンチ	10
写真 13 3 トレンチ	10
写真 14 4 トレンチ	10
鶺鴒遺跡	
写真 15 1 トレンチ	12
写真 16 2 トレンチ	12
写真 17 3 トレンチ	12

## 表目次

表 1 平成 26 年度埋蔵文化財調査一覧表	1
表 2 遺物観察表	13
表 3 平成 26 年度発掘届出 (法 93 条) 一覧表	13

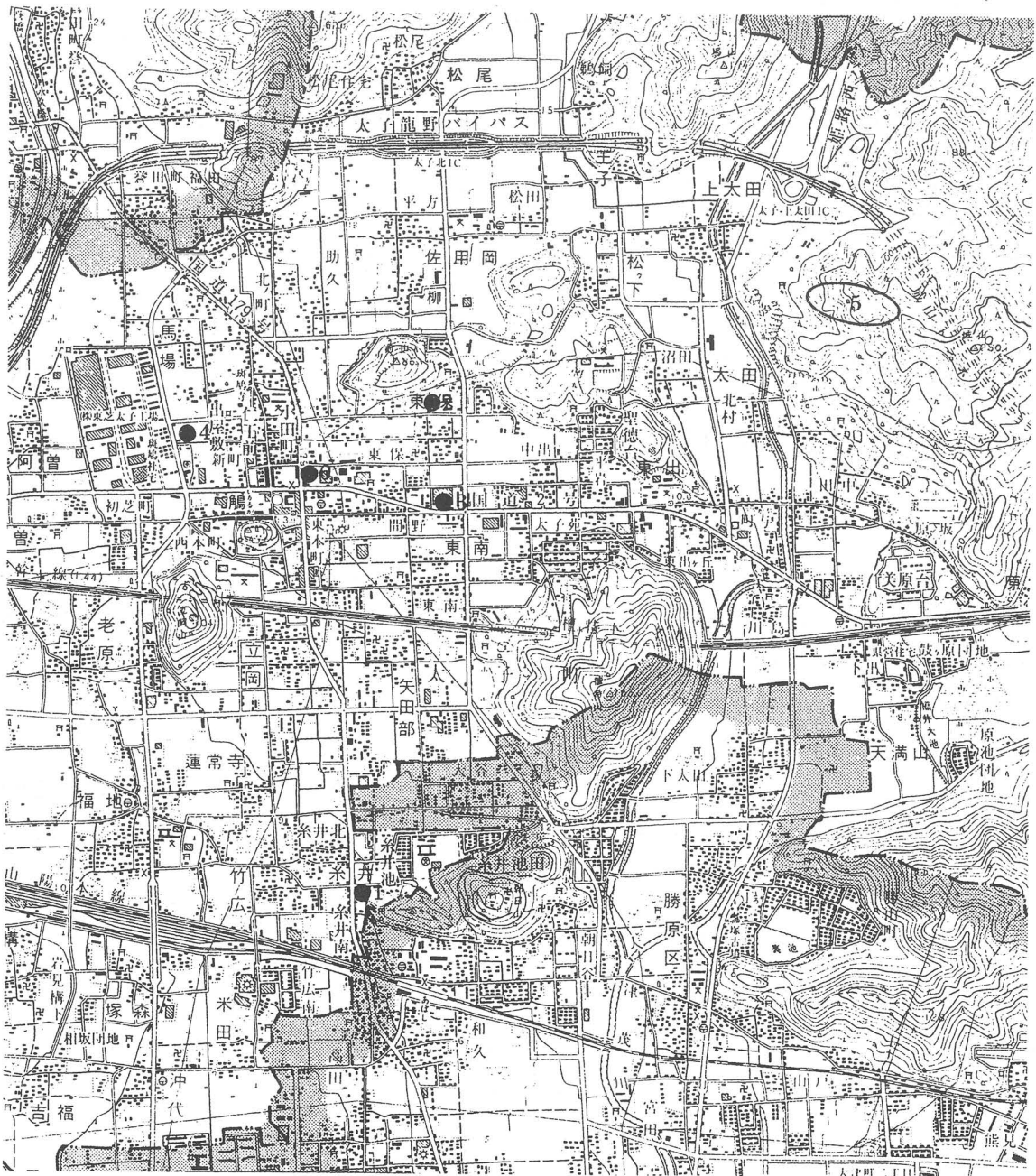
## I 平成 26 年度調査概要

平成 26 年度では、民間の開発事業に伴う試掘確認調査として 5 件、公共工事に伴う試掘確認調査として 1 件を実施し、そのうち、民間の開発事業に伴う 5 件の試掘確認調査を国庫補助事業として実施した。

表 1 平成 26 年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 内 容	開 発 面 積 (㎡)	調 査 面 積 (㎡)	調 査 期 間	備 考
1	朝日山遺跡	糸井字前田	宅地造成 国庫補助事業	1,456	25.08	平成 26 年 4 月 22 日 ～ 4 月 30 日	本書掲載
2	東保高田遺跡	東保字神田	宅地造成 国庫補助事業	3,356.78	71.19	平成 26 年 4 月 24 日 ～ 5 月 10 日	本書掲載
3	東保高田遺跡	東保字神田	宅地造成 国庫補助事業	1,595.51	24.26	平成 26 年 5 月 20 日 ～ 5 月 30 日	本書掲載
4	斑鳩寺南遺跡	鶯字水走	宅地造成 国庫補助事業	2,089.51	56.12	平成 26 年 5 月 27 日 ～ 6 月 10 日	本書掲載
5	楯岩城跡	太田字城山	遊歩道整備 町単費事業	2,708.33	34	平成 26 年 12 月 17 日 ～平成 27 年 6 月 24 日	未掲載
6	鶯遺跡	鶯字外前田	店舗建設 国庫補助事業	1,413.05	24.02	平成 27 年 1 月 20 日 ～ 6 月 28 日	本書掲載





第2図 平成26年度調査位置図 (1/30,000)

# 朝日山遺跡

## 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町糸井字前田 253 番 1 他 4 筆

## 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

## 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

## 4. 調査期間

平成 26 年 5 月 7 日～5 月 16 日

## 5. 調査面積

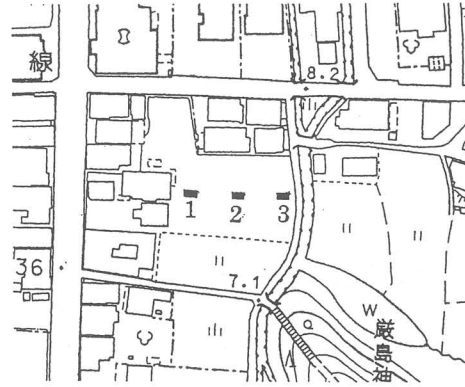
24.05 m<sup>2</sup>

## 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 5 秒)、東経(134 度 43 分 55 秒)



第 3 図 トレンチ配置図(1/2,500)

## 7. 調査に至る経過

太子町糸井字前田 253 番 1 他 4 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である朝日山遺跡の西方約 200mの地点に位地することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 7.85m 前後を測る露天駐車場である。

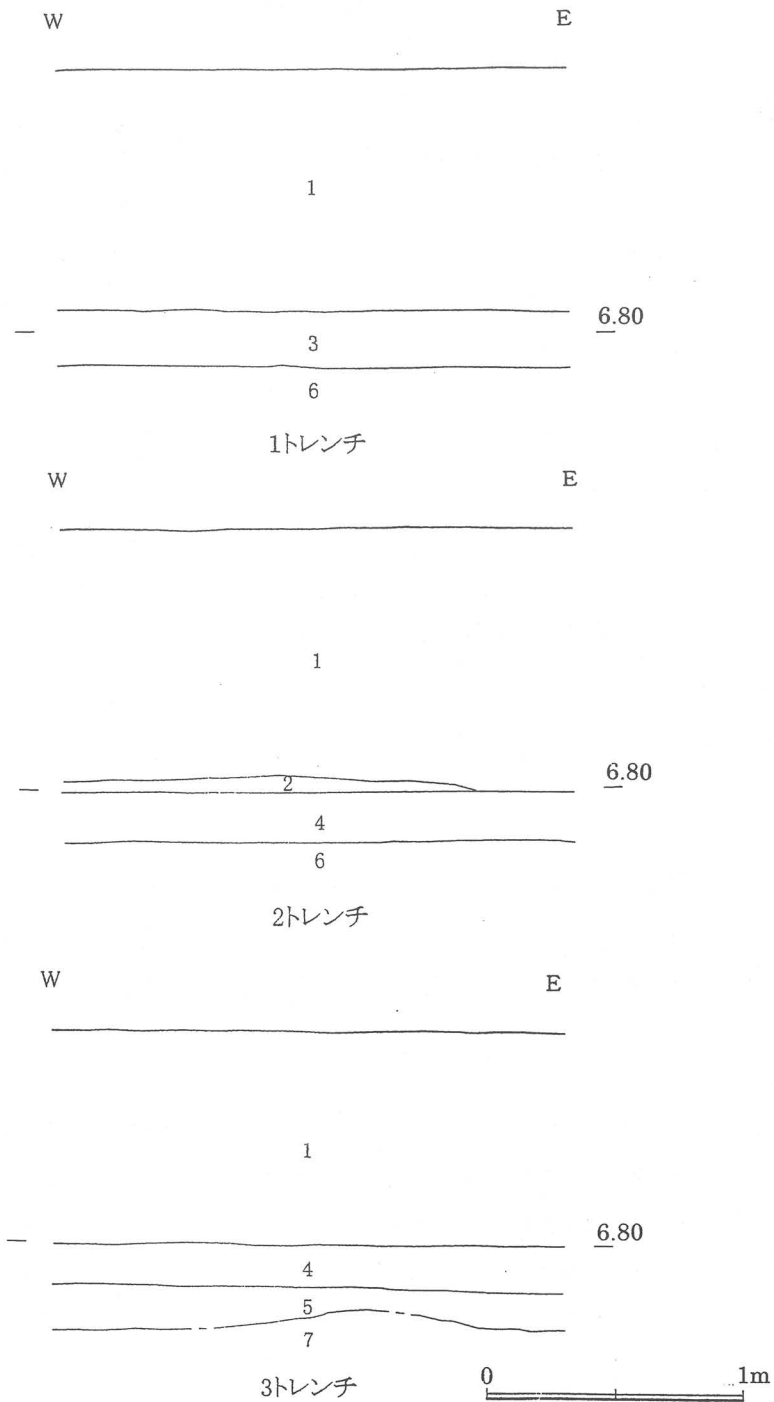
## 8. 調査の概要

調査は、2×4mのトレンチを 3 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から盛土(85～95cm)、耕土(6cm)、黄灰色ないしは淡褐灰色土・床土(16～22cm)で灰色砂礫あるいは褐色粗砂となっている。

各トレンチとも、遺物包含層・遺構は検出されず、遺物の出土もなかった。

## 9. まとめ

調査の結果、朝日山遺跡に関連する遺物包含層・遺構は確認されず、遺物の出土もなかった。今回の調査地点まで、同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



- 1.盛土
- 2.耕土
- 3.黄灰色土・床土
- 4.淡褐灰色土・床土
- 5.灰色砂質土
- 6.灰色砂レキ
- 7.褐色粗砂

第4図 土層断面図



写真2 1トレンチ

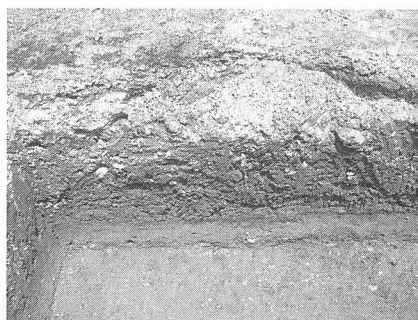


写真3 2トレンチ



写真4 3トレンチ

## 東保高田遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東保字神田 249 番 5 他 1 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 26 年 7 月 25 日～8 月 1 日

### 5. 調査面積

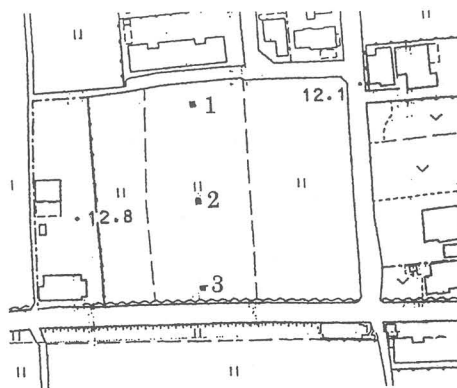
12.17 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、試掘坪配置図(1/400)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 7 秒)、東経(134 度 35 分 25 秒)



第 5 図 試掘坪配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町東保字神田 249 番 5 他 1 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東保高田遺跡の北東側に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 12.50m 前後を測る休耕田である。

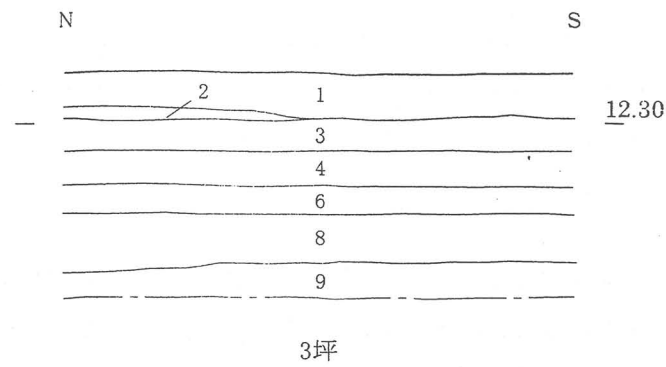
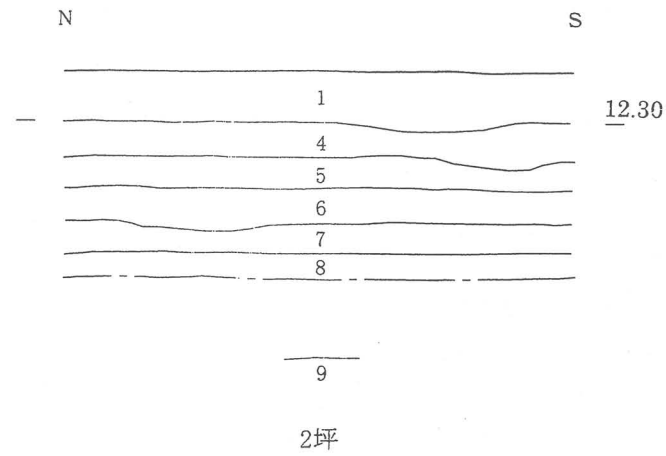
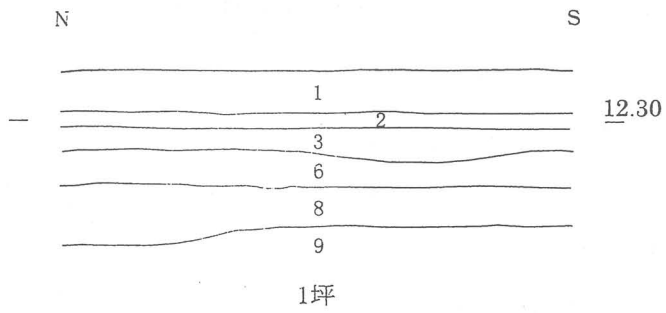
### 8. 調査の概要

調査は、2×2mの試掘坪を 3 箇所設定して実施した。調査地の基本土層は上層から、耕土(16～20cm)、黄色土・床土(6cm)、黄灰色粘質土(10～12cm)、淡灰色粘質土(14cm)、暗黄灰色粘質土(12cm)、黄色粘質土(10～18cm)、灰褐色粘質土(12cm)、暗褐色粘質土(16～40cm)で黄褐色粘質土・地山となっている。

各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、東保高田遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



- 1. 耕土
- 2. 黄色土・床土
- 3. 黄灰色粘質土
- 4. 淡灰色粘質土
- 5. 暗黄灰色粘質土
- 6. 黄色粘質土
- 7. 灰褐色粘質土
- 8. 暗褐色粘質土
- 9. 黄褐色粘質土・地山



第6図 土層断面図

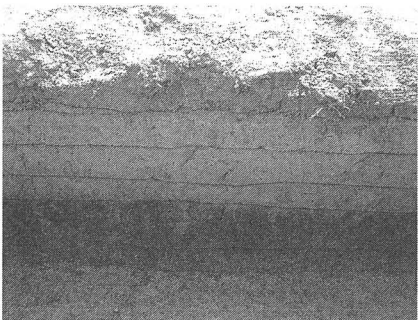


写真5 1坪

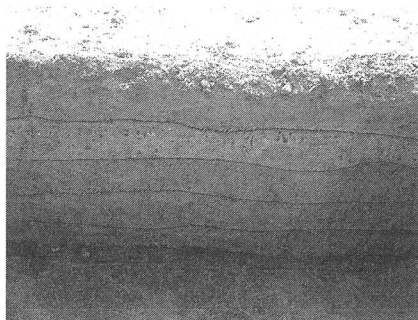


写真6 2坪

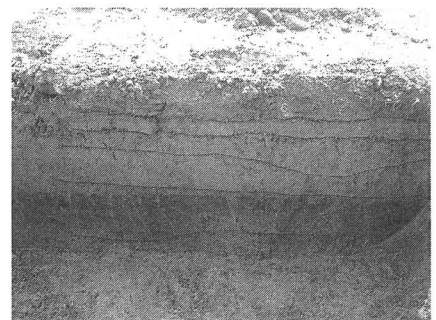


写真7 3坪

## 東保高田遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東保字神田 170 番 1 他 6 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 26 年 9 月 1 日～9 月 12 日

### 5. 調査面積

36.36 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、試掘坪配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 00 秒)、東経(134 度 35 分 25 秒)



第 7 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町東保字神田 170 番 1 他 6 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東保高田遺跡の南東側に近接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 13.14m 前後を測る工場跡地である。

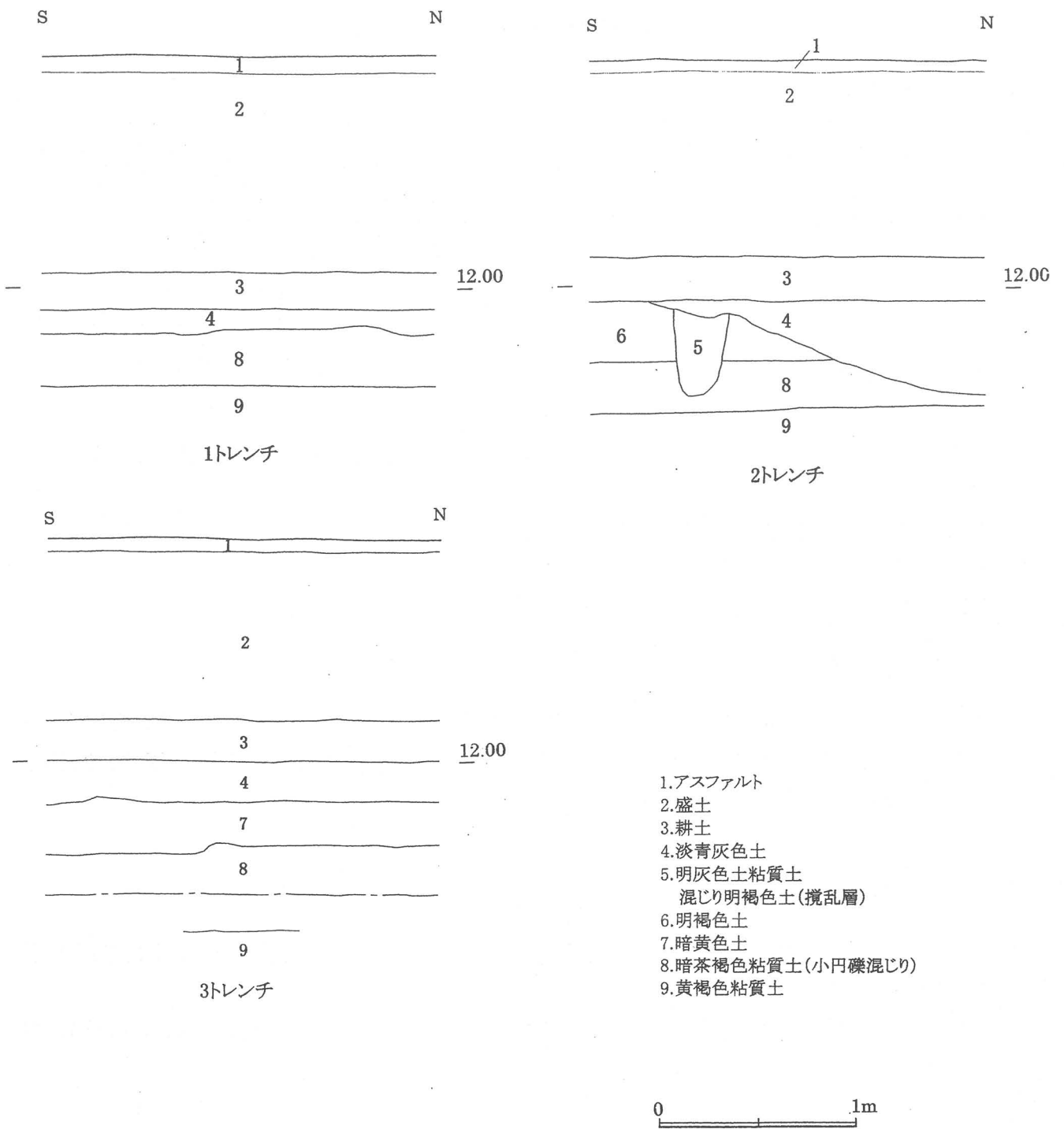
### 8. 調査の概要

調査は、2×6m のトレンチを 3 箇所設定して実施した。調査地の基本土層は上層から、アスファルト(6cm)、盛土(84～100cm)、耕土(18～22cm)、淡青灰色土・旧耕土(12～46cm)、明褐色土(30cm)、暗黄色土(22～30cm)、暗茶褐色粘質土(25～40cm)で黄褐色粘質土・地山となっている。

各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、東保高田遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第8図 土層断面図



写真8 1トレンチ

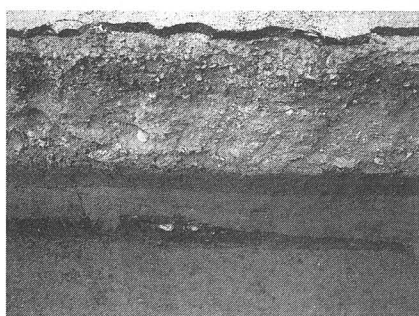


写真9 2トレンチ



写真10 3トレンチ

## 斑鳩寺南遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鷗字水走 376 番一部

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 26 年 10 月 8 日～10 月 24 日

### 5. 調査面積

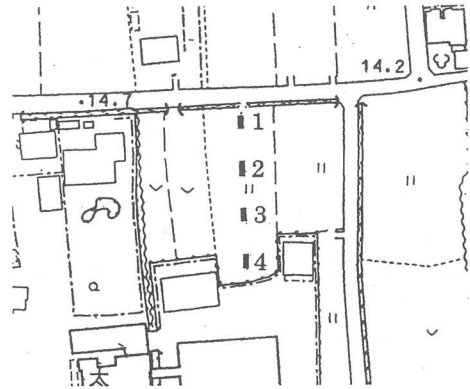
40.25 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)、試掘坪配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 7 秒)、東経(134 度 34 分 25 秒)



第 9 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町鷗字水走 376 番の一部において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である斑鳩寺南遺跡の北側に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 14.00m 前後を測る休耕田である。

### 8. 調査の概要

調査は、2×5mの試掘坪を 4 箇所設定して実施した。

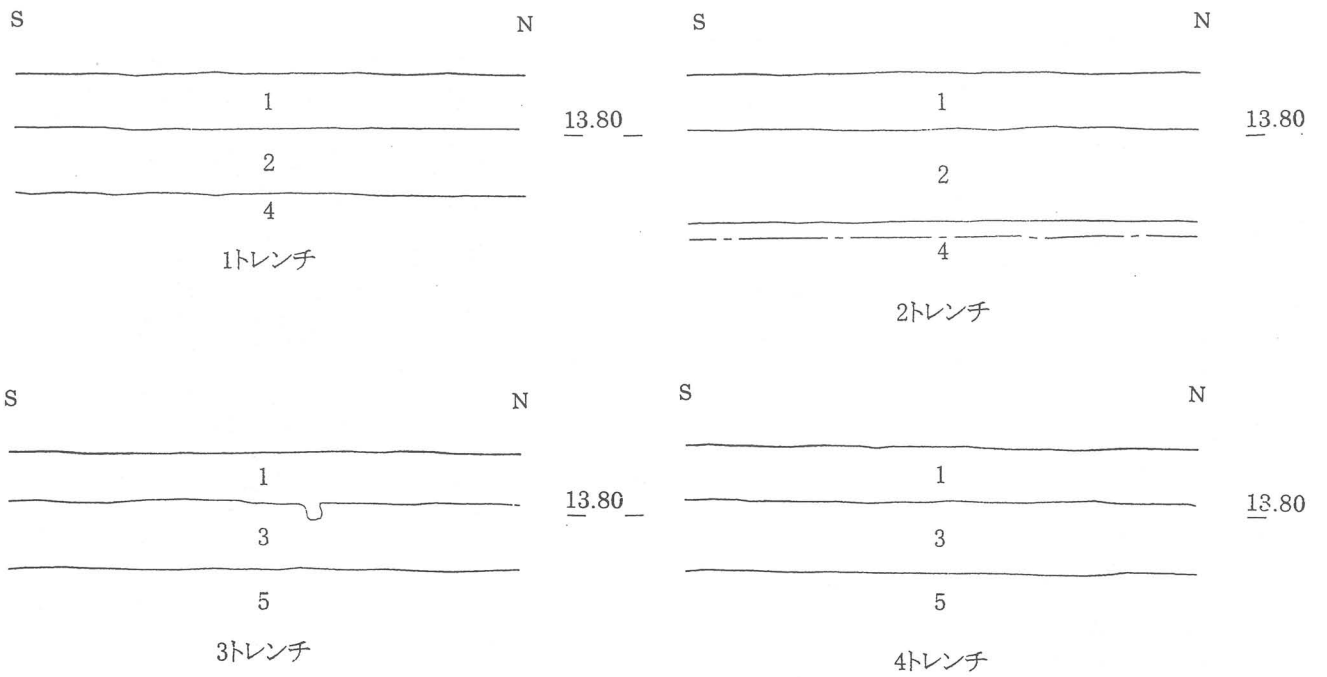
調査地の基本土層は上層から、耕土(22cm)、黄灰色土ないしは黄色土・床土(26～36cm)で淡褐色砂質土・地山となっている。

各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されなかったが、1・2 トレンチから土師器片、須恵器片、布目瓦片等の遺物が出土した。

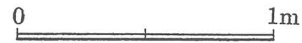
### 9. まとめ

調査の結果、斑鳩寺南遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されなかったが、流れ込みと考えられる遺物が若干出土した。今回の調査地点まで同遺跡の北側縁辺部に位置すると考えられる。

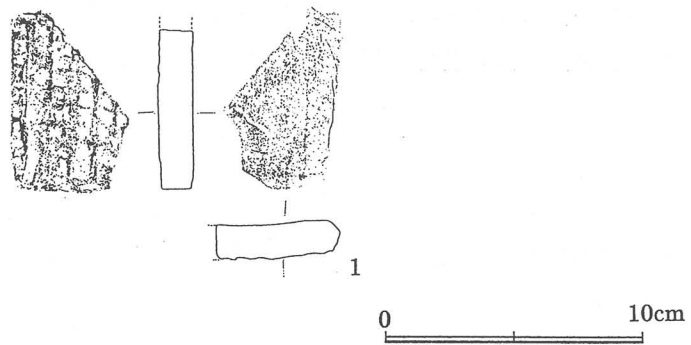




- 1. 耕土
- 2. 黄灰色土床土
- 3. 黄色土床土
- 4. 淡褐色土・地山
- 5. 淡褐色砂質土・地山



第 10 図 土層断面図



第 11 図 出土遺物

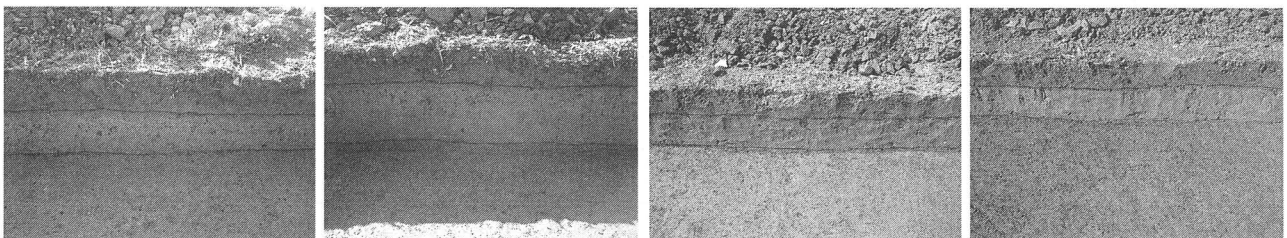


写真 11 1トレンチ

写真 12 2トレンチ

写真 13 3トレンチ

写真 14 4トレンチ

## 鶯遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶯字外前田 1322 番 4 一部 他 3 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 27 年 1 月 26 日～2 月 6 日

### 5. 調査面積

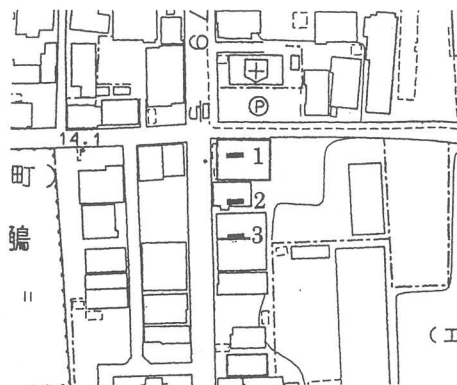
30.08 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、試掘坪配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 5 秒)、東経(134 度 34 分 43 秒)



第 12 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町鶯字外前田 1322 番 4 の一部他 4 筆において物販店舗新築工事が計画され、工事予定地は周知の埋蔵文化財である鶯遺跡の南西側に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 14.30m 前後を測る更地である。

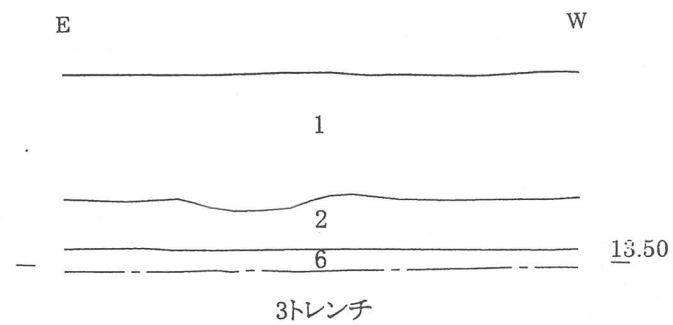
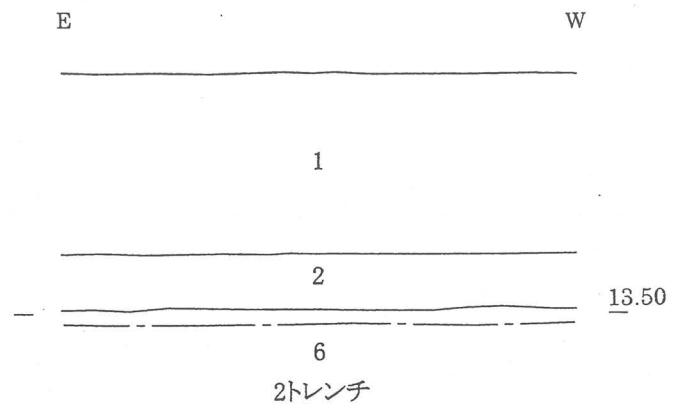
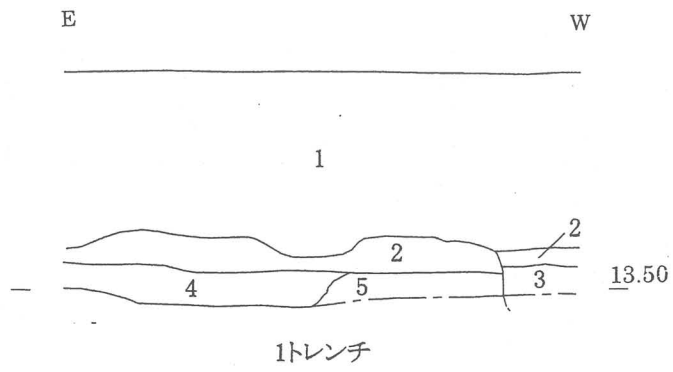
### 8. 調査の概要

調査は、2×5mの試掘坪を 3 箇所設定して実施した。調査地の基本土層は上層から、盛土(70cm)、耕土(16～24cm)、淡褐灰色土・床土(14cm)で黄褐色土ないし淡褐色粘質土の地山となっている。

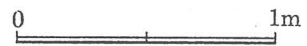
各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、鶯遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。なお、1 トレンチでは、周辺部の調査と同様に、近現代の土取による攪乱が確認されている。



- 1.盛土
- 2.耕土
- 3.攪乱土(土取跡)
- 4.淡褐灰色土・床土
- 5.黄褐色土・地山
- 6.淡褐色粘質土・地山



第13図 土層断面図

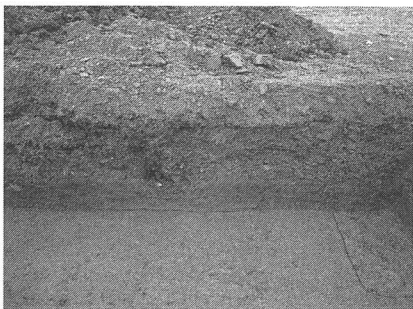


写真15 1トレンチ

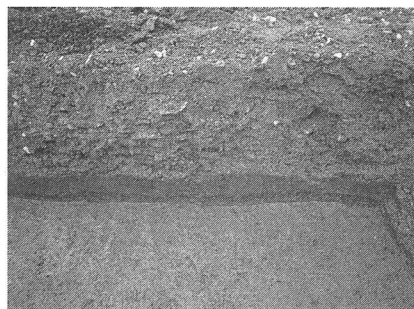


写真16 2トレンチ



写真17 3トレンチ

表 2 遺物観察表

No.	遺 跡 名	出土地点	種別 器種	遺物番号	法 量(cm)			焼 成	色 調	胎 土	調 整
					口 径	器 高	底 径				
1	斑鳩寺南遺跡	2 トレンチ	布目瓦	1405-1-1		1.8 (厚み)		良好	凹 N7/0 灰白 凸 N7/0 灰白	砂粒含む	凹 布目 凸 格子タタキ

表 3 平成 26 年度発掘届出 (法 93 条) 一覧表

No.	遺 跡 名 種 類	届 出 地	工事の目的	開発面積 (㎡)	町 文 書 番 号 進 達 年 月 日	県 文 書 番 号 発 信 年 月 日	備 考
1	馬場遺跡 集落跡	鶴字八幡分 927 番 37	個人住宅	160.82	太教社教第 132 号 平成 26 年 6 月 10 日	教文第 1510 号 平成 26 年 6 月 26 日	慎重工事
2	斑鳩寺南遺跡 集落跡	鶴字水走 376 番	宅地造成	1321.20	太教社教第 280-3 号 平成 26 年 10 月 24 日	教文第 2377 号 平成 26 年 11 月 7 日	確認調査 慎重工事
3	城山遺跡 集落跡	鶴字城山前 992 番 30	個人住宅	135.32	太教社教第 332 号 平成 26 年 11 月 18 日	教文第 2575 号 平成 26 年 11 月 26 日	慎重工事
4	東保遺跡 散布地	東保字木森 367 番 15 他	個人住宅	291.89	太教社教第 339 号 平成 26 年 11 月 27 日	教文第 2660 号 平成 26 年 12 月 1 日	慎重工事
5	城山遺跡 集落跡	鶴字城山前 997 番 26	個人住宅	144.04	太教社教第 351 号 平成 26 年 12 月 5 日	教文第 2673 号 平成 26 年 12 月 11 日	慎重工事
6	城山遺跡 集落跡	鶴字城山前 997 番 31	個人住宅	143.13	太教社教第 352 号 平成 26 年 12 月 5 日	教文第 2674 号 平成 26 年 12 月 11 日	慎重工事
7	鶴遺跡 集落跡	東保字高田 35 番 1 他	個人住宅	324.65	太教社教第 381 号 平成 27 年 1 月 13 日	教文第 2946 号 平成 27 年 2 月 3 日	慎重工事

報告書抄録

ふ り が な	へいせい 26 ねんど まいぞうぶんかざいちょうさねんぼう
書 名	平成 26 年度 埋蔵文化財調査年報
副 書 名	— 国庫補助事業対象分 —
巻 次	
シ リ ー ズ 名	太子町文化財資料
シ リ ー ズ 番 号	第 82 集
編 著 者 名	海野浩幸
編 集 機 関	太子町教育委員会
所 在 地	〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鶴 1369-1 TEL.079-277-1017
発 行 年 月 日	西暦 2016 年 3 月 31 日

遺 跡 名	あさひやまいせき 朝日山遺跡					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょういとあさみえだ 兵庫県揖保郡太子町糸井字前田					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調 査 面 積 ( ㎡ )	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 5"	134° 43' 55"	2014・5・7	24.05	宅地造成
28464	450214			~5・16		
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項	
朝日山遺跡	集落跡	古墳				

遺跡名		東保高田遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町東保字神田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 7"	134° 34' 25"	2014・7・25	12.17	宅地造成
28464	450079			~8・1		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保高田遺跡	散布地	弥生・古墳。中世				

遺跡名		東保高田遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町東保字神田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 00"	134° 55' 7"	2014・9・1	36.36	宅地造成
28464	450079			~9・12		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保高田遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世				

遺跡名		斑鳩寺南遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町 鶴字水走				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 7"	134° 34' 25"	2014・10・8	40.25	宅地造成
28464	450013			~10・24		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
斑鳩寺南遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・中世		土師器・須恵器・布目瓦		

遺跡名		鶴遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町 鶴字外前田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 5"	134° 34' 43"	2015・1・26	30.08	物販店舗建築
28464	450017			~2・6		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
鶴遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世				

平成26年度 埋蔵文化財調査年報

---

発行日 平成28年 3 月31日

発 行 太子町教育委員会

兵庫県揖保郡太子町鷗280-1

電話 079-277-1017

印 刷 株式会社協和印刷



